

# 緑化通信

2012  
8月25日  
(偶数月25日発行)  
第425号

発行所  
社団法人 日本植木協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階  
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577  
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

## 一般社団法人移行に向け平成二十五年度事業計画と 予算案及び新たな事業実行体制等を検討

### 常務理事会、理事会、専門部長合同会議及び正副ブロック長合同会議の開催

本協会は、七月四日(水)に協会会議室において、十時三十分から常務理事会及び十三時から常務理事・専門部長合同会議を、七月五日(木)には、メルパルク東京で十時三十分から第四回理事会及び十三時から理事・正副ブロック長合同会議を開催した。

今回の一連の会議では、協会が、今年一月の総会で承認された一般社団法人移行に向けた定款改正等を基に、内閣府の公益認定等委員会に一般社団法人認可申請を四月二十七日に行ったところ、新会計年度当初の算及び実行体制について平成二十四年十二月一日までに認可される見込みであることから、一般社団法人としての初めての予算と事業計画、実行体制については以下の通りであるとの説明があった。

- 1. 平成二十五年度事業計画・予算案及び実行体制について
  - 2. 事務局からの説明
- 【事務局からの説明】
- ① 新法人の初年度となる平成二十五年度事業計画、予算案の概要
  - ② ビジョン検討小委員会
  - ③ 環境省「みどり香るま

## 第六回 環境緑化樹木識別検定試験 初開催の愛知県会場で五十三名が受験

### 七月七日東京農業大学と七月二十一日愛知県植木センターの二ヶ所にて実施

今年度は初めての二ヶ所での実施。東京会場は、七月七日(日)十三時より東京農業大学一号館(東京都世田谷区)にて例年同様開催した。今回、新たに開催した愛知県会場は、七月二十一日(日)十三時より愛知県植木センター(愛知県稲沢市)で行われ、二会場で総員六十九名が受験した。東京会場では一般、学生が多く、愛知県会場では協会員が多数受験した。東京農業大学では広い教室、愛知県植木センターでは大きな講堂が



識別用の枝葉入りプラスチック



初開催の愛知県会場では多くの受験者が参加

五秒間で、百樹種を次々と識別し、全員無事答案用紙を提出することが出来た。この試験は、全体樹形・樹幹・枝ぶり等がわからず、枝と葉だけで瞬時に識別する能力、また正確な標準和名を回答する能力が求められる。一般的に目にする樹木ながら、満点取得者はほとんどいない。樹木に興味ある一般の人向けの検定試験であるとともに、「樹木識別」のスペシャリストを目指す人にも相応しい検定試験でもある。

- ④ 従来通り新樹種部会に委託する。
- ⑤ 各支部が購入するカレンダー代金の補助を廃止する。
- ⑥ 環境省「みどり香るま
- ⑦ 事業実行担当組織については、当面、現行の体制をそのまま継続することとしているが、今後は組織の簡素化や委員の人数等について考慮するよう各組織に要望する。
- ⑧ 常務理事会及び理事会での議論
- ⑨ 今会議での決定事項
- ⑩ 現行の各支部に一律に助成する部会奨励金は平成二十五年度から廃止し、今後は連絡調整会議等で各支部が実施する事業、この補助申請の提出を受け、理事会の審査を経て予算化することとする。
- ⑪ 青年部会奨励金については、引き続き検討する。
- ⑫ 各支部が購入するカレンダー代金の補助は継続することとする。
- ⑬ 今会議で追加された検討事項
- ⑭ 原案の「調査・研究委員会」が所管する呼称整理等、図書編集については、「研修・資格委員会」に移行することとする。
- ⑮ 「広報・普及委員会」が所管する緑化通信・ホームページ等の編集のため、新たに「広報編集委員会」を創設する案については、引き続き検討することとする。
- ⑯ 二十五年度予算の部会奨励金の廃止については、復活して欲しい。
- ⑰ これまでの一律の助成と言ふよりも、例えば、各支部が部会員以外の一

- ① 事業実行担当組織については、当面、現行の体制をそのまま継続することとしているが、今後は組織の簡素化や委員の人数等について考慮するよう各組織に要望する。
- ② 常務理事会及び理事会での議論
- ③ 今会議での決定事項
- ④ 現行の各支部に一律に助成する部会奨励金は平成二十五年度から廃止し、今後は連絡調整会議等で各支部が実施する事業、この補助申請の提出を受け、理事会の審査を経て予算化することとする。
- ⑤ 青年部会奨励金については、引き続き検討する。
- ⑥ 各支部が購入するカレンダー代金の補助は継続することとする。
- ⑦ 今会議で追加された検討事項
- ⑧ 原案の「調査・研究委員会」が所管する呼称整理等、図書編集については、「研修・資格委員会」に移行することとする。
- ⑨ 「広報・普及委員会」が所管する緑化通信・ホームページ等の編集のため、新たに「広報編集委員会」を創設する案については、引き続き検討することとする。
- ⑩ 二十五年度予算の部会奨励金の廃止については、復活して欲しい。
- ⑪ これまでの一律の助成と言ふよりも、例えば、各支部が部会員以外の一

- ① 基本的には独立しているが、両者は連携して事業を実施する必要があるし、実行組織は予算等で委員会のコントロールを受けなければならない。必要なのは、委員会の委員が実行組織の担当となることである。
- ② 実行体制では、従来のカレンダー編集委員会ではなく、今後はどうなるか。
- ③ カレンダーの作成を新樹種部会に委託しているが、部会内の組織となる。カレンダーの作成については、協会から部会に委託する段階で注文は
- ④ 委員会と事業実行組織の関係は、実行組織が独自に実施した結果を報告するということが。
- ⑤ つながり、その後は部会に任せられることになる。
- ⑥ 理事・正副ブロック長合同会議での議論
- ⑦ 供給可能調査対象樹種が少ないので、供給可能調査委員会に新樹種部会の委員を入れる必要はないとの意見があった。
- ⑧ また、新樹種を生産し、流通させる場合は、量の確保と継続生産に責任を持って欲しいとの要望があった。
- ⑨ 公営目的支出計画の実施事業に関連して、公益性の高い事業(緑育出前、植生アドバイザー、樹木検定の講習会等)については、外部からの補助対象になるような事業なので、出来るだけ外部

### タマリユウ生産販売

## タマリユウジャパン

タマリユウ定期便で  
いつでも・どこへでもお届けします。

●ご注文はホームページ、  
電話・FAXでも承ります。

〒893-0013  
鹿児島県鹿屋市札元2丁目3727-2  
TEL: 0994-44-6993  
FAX: 0994-44-6996  
http://www.tamaryu.jp/  
E-mail: net-shop@tamaryu.jp





7/7理事・正副本部長合同会議(メルパルク東京)

(3) 五月八日の第一回災害復旧樹



7/6常務理事・部長合同会議(協会事務局)

(1) 平成二十五年  
度通常総会が名

各専門部会及び各ブロックからの要望等に対して回答があった。(各要望及び回答は協会ホームページ・会員限定情報の会議報告をご覧ください。)

① 各会計の上期の執行状況及び前期監査について報告があり、了承された。② 一般会計の供給可能量調査引当金取崩収入、退職給付引当金取崩収入、総務費、特別会計の表示出荷事業費等の変更が承認された。

③ 九州ブロックからの「九州版街路植栽リスト」作成費用の補助申請及び新樹種部会からの全国都市緑化フェアATOKYO/日比谷ガーデニングショー2012出展費用の補助申請に対する助成が承認された。

1. 調査会の掲載価格調査先は、昨年度から生産者、流通業、需要家のそれぞれの立場を明確にして調査しており、産地では生産・流通業者の回答が多い。  
2. 過去には、サクラはフルイで良かったが、現在は根巻きが条件であり、価格を見直している。

④ 林野庁から協力依頼があった夏季の電力需給対策について、機会を捉えて周知するよう要望があった。

4. 理事会における報告及び決議事項  
以上の他、五日の第四回理事会では、以下の事項について報告及び承認された。  
(1) 会員の動向  
年度当初から、正会員の入会二社、退会六社との報告があり、新たに、賛助会員の新規加入一社(リゾートラスト株式会社)の入会が承認され、現時点の会員数は、正会員五百四十一社、賛助会員十九社となった。

3. 掲載されている価格は、実際の取引価格との差があるが、ここにある単価は公共工事使用されるもので、生ものであるりその時々によって相違があり、検査に耐える価格を掲載しており、民間工事の価格も参考にしている。掲載価格と実取引に相違がある事を理解して欲しい。  
4. 全国的に単価のトレンドが有ればそれなりの反映は可能であるので、価格調査には協力を願いたい。

あじさい園  
六月二十日(水)、あじさいをテーマに、東京サマーランドあじさい園と(株)翠宏園の視察に、十七名が参加した。

視察研修会  
東京サマーランドあじさい園では、梅雨の晴れ間独特の蒸し暑い気候の中、ガイドの話聞きながら、ゆつくりとした歩調で頂上のアナベルの雪山を目指して視察した。例年より開花期が遅く園内にあじさいは満開とはいかなかったが、貴重種を含む約六十種一萬五千株のあじさいを視察した。

その後、(株)翠宏園へ移動し、園主石川剛氏案内のもとアジサイ生産園場を主に見学した。



東京サマーランドあじさい園園路はウッドチップで舗装されている

園路はウッドチップで舗装されている



座学講習会(愛知)  
樹木識別のポイント  
は、百種の実物枝葉が入ったフラスコを講師と一緒に観察して回れるように配置された。

林野庁人事異動  
七月一日付 本協会関係分  
○研究・保全課 課長 徳丸 久衛 (環境省大臣官房付)  
○環境省出向 (北海道地方環境事務所長) 出江 俊夫 (前研究・保全課 課長)  
○七月四日付 本協会関係分  
○研究・保全課 森林保全推進室長 猪島 康浩 (森林整備部 研究・保全課付)  
○中部森林管理局 森林整備部長 松本 寛喜 (前研究・保全課 森林保全推進室長)

六月十六日(出)、東京都千代田区日比谷公園の緑と水の市民力レジニ階 大教室にて、十三時より「樹木識別のポイント講習会」が開催された。参加者は一般二十三名と協会員一名の計二十四名。  
また今回開催の愛知県時より、愛知県稲沢市の愛知県植木センターにて、協会員三十九名、学生一名、関係団体他六名の計四十六名が参加しての講習となった。

講習内容は、座学と、受講者が講師を囲み会場内に散開して、実物の枝葉を吟味しながら講師の解説を聞きながら二部構成。受講者が参加しての講習となっていた。

に申請するよう検討して欲しい。  
④ 樹木の提案型販売方法を習得するため、そのための基礎となる本会員の識別検定試験の受験推進をしてほしい。また、樹名の由来、葉効等に関する知識の広報・普及の推進をしてほしい。  
なお、平成二十五年度事業計画、予算及び実行体制については、今回の部長会議やブロック長会議、理事会などの議論を踏まえて、十一月の理事会までに最終の結論を得たいとの説明があった。

2. 協会活動、事業等に対する要望、意見等について  
各専門部会及び各ブロックからの要望等に対して回答があった。

4. 理事会における報告及び決議事項  
以上の他、五日の第四回理事会では、以下の事項について報告及び承認された。  
(1) 会員の動向  
年度当初から、正会員の入会二社、退会六社との報告があり、新たに、賛助会員の新規加入一社(リゾートラスト株式会社)の入会が承認され、現時点の会員数は、正会員五百四十一社、賛助会員十九社となった。

た。(手間がかかるものにはそれなりの単価が必要で、生産量の減少要因にもなっていることを強調)。  
2. 造園工費の低減に伴い、素材単価にそのしわ寄せがきている。  
3. 株立の定義で、北海道規格には掲載されていない。株立に寄せ株も可とする委員会決議を提議する。  
まとめとして、調査会から十月近く調査時期を迎えるので、両調査会から価格トレンド把握のためにも協力依頼の発言があった。

「樹木識別のポイント講習会」  
二会場で七十名が受講  
東京 日比谷公園、愛知県 植木センターにて

講習内容は、座学と、受講者が講師を囲み会場内に散開して、実物の枝葉を吟味しながら講師の解説を聞きながら二部構成。受講者が参加しての講習となっていた。

場にて、似ていて間違えやすい樹種とその見分け方の実習。  
ヤマモモホルトノキ、ヤマボウシとサンシュユ、シラカシとアラカシ等の違いを見分け方を教わり、一樹種毎に手で触れ、その場でその特徴を聞き、枝葉の違いを観察した。

講習終了後も、どうしても気になる枝葉があり、持ち帰って復習したいという参加者が続出。  
東京会場は雨天にもかかわらず、ほとんどの枝葉はなくなり、大変好評な講習会だった。

また、この回答書の全文については、協会ホームページに掲載しています。

放射能汚染対策に関して  
東京電力株本社からの回答

平成24年1月10日東京電力株本社において、水城会長等三役は、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染に関して、要望書を提出していたが、平成24年6月6日、大略、下記のような回答があった。

① 避難会員が行う損害賠償事務の手続きの簡素化を図るとともに、速やかな支払いを行うことについて  
出来る限り簡素化を図るとともに、親切・丁寧に対応し、請求の支払いも目標期間内に完了している。  
② 会員が負担した放射能汚染に起因した費用について、適切な補償を行うことについて  
政府の中間指針に沿って、土壌の汚染状況や原子力発電所との距離を考慮して、福島、茨城、栃木の3県で産出された植木の検査費用については、原発事故との相当因果関係にある損害と考えられ、それ以外の都道府県で産出された植木については、相当因果関係にある損害にはあたらないと考えている。

③ 会員が行う放射能汚染に係る対応について、人的・物的な支援を行うこと。特に、放射線量測定機器の貸与又は購入助成をすることについて  
当社も種々の取組に相当量の測定機材を使用しており、機材が不足していることから、要請に応えることは困難な状況にある。  
④ 貴社自らが、率先して、緑化樹木等非食用物の放射能汚染に対する市民等の不安を解消するための広報を適切に行うことについて  
今後の情報発信や広報活動のあり方を検討するに当たって考慮する。

経営委員会  
両調査会懇談会  
経営委員会は六月二十日(水)十三時〜十四時三十分にかけて、協会・会議室にて、(一財)建設物価調査会と、(一財)経済調査会との懇談会を開催した。出席者は田嶋委員長、吉澤、岩田、前野、須崎委員と両調査会各二名計四名と事務局。懇談会は田嶋委員長挨拶の後、同委員長の司会により議事進行。

調査会発言  
1. 調査会の掲載価格調査先は、昨年度から生産者、流通業、需要家のそれぞれの立場を明確にして調査しており、産地では生産・流通業者の回答が多い。  
2. 過去には、サクラはフルイで良かったが、現在は根巻きが条件であり、価格を見直している。

経営委員会発言  
1. 生産量の減少にかかわらず、価格は低水準で、特に12センチと15センチの価格差の相違が少なくない状況であり、底上げと差別化の改善を要望している。

六月十六日(出)、東京都千代田区日比谷公園の緑と水の市民力レジニ階 大教室にて、十三時より「樹木識別のポイント講習会」が開催された。参加者は一般二十三名と協会員一名の計二十四名。  
また今回開催の愛知県時より、愛知県稲沢市の愛知県植木センターにて、協会員三十九名、学生一名、関係団体他六名の計四十六名が参加しての講習となった。

講習内容は、座学と、受講者が講師を囲み会場内に散開して、実物の枝葉を吟味しながら講師の解説を聞きながら二部構成。受講者が参加しての講習となっていた。



## 植生アドバイザー育成セミナーと 植生管理士認定試験について検討

植生調査拡大協議会を東京農業大学にて開催

植生調査拡大協議会は、平成二十四年七月十七日(木)十四時三十分〜十七時三十分東京農業大学森林総合科学科会議室において協議会を開催した。出席者は中村先生、鈴木先生、福永先生、関岡先生、小室先生のほか、本会からは上条委員長、葛西副委員長、菅原、内田、島山、國忠、森本、西野、清瀧委員と事務局。

協議会では上条委員長挨拶の後、議事に入る。今年度の植生セミナーは、八月二十九日から九月一日にかけて、三泊四日で行われ、同日に群馬県利根郡川場村で開催することとして、セミナー開催に関する諸事項の検討を行った。席上Aコースの研修場所を利便性や多様な植生が見られるキャンプ場周辺として実施すること、Cコースについて昨年のデータをもとに補植を行うことを決定した。今年度に配布するテキスト作成のため、八月二十三日までに事務局宛て原稿の送付依頼を諸先生に依頼することにも、入手可能な参考図書に掲載する。環境省人材認定等事業の「認定事業」登録を申請するため、第三回植生管理士



認定試験を十一月二十五日(日)東京農大にて試験の実施をする。なお、試験に先立ち、Dコースとして各コース担当の先生から十一月二十四日(土)十三時から十八時

認定試験を十一月二十五日(日)東京農大にて試験の実施をする。なお、試験に先立ち、Dコースとして各コース担当の先生から十一月二十四日(土)十三時から十八時

にかけて東京農大でセミナーを開催するが、このDコースはもとより、セミナー修了時期と試験の実施時期にそれなりの期間が有り、経過措置として過去二年間開催したこともあり、今年度で終了の予定である。また、CPDの先駆的団体である「全国土木施工管理士会連合会」が推進する「CPDS」に植生セミナーのAコースが登録認定され、三泊四日で24ユニットが取得できることが報告された。

木(ファスティギアタ樹形の武蔵野ケヤキ、日陰に強いハイノキ)の例。今後は日陰に強いヒセンマユミ、イシユなど注目されるのではないかと柴道相談役は、宮崎で多数の実をつける強耐潮性のマサキを見つけた例を挙げ、改めて日本の樹木の枝をじっくり眺めてみる必要性を説いた。突然変異などで形成された特徴ある枝等が原質となつて、今後の有望商品につながる可能性があるとした。

2. 売り方、PR方法  
・部会員一人一人がマイツリー(ブランド)を持ち、部会全体で販売・PRする案が挙がった。  
・海外種苗業界ではマーケティングが重要視されており、利益の10%をマーケティング費用として確保している会社の例が紹介された。  
・市場やメディア(建設物価値、園芸雑誌への記事寄稿など)の利用検討。会費の一部を宣伝費に充当する案も挙がった。  
・そのほか、三十三〜六十代の女性をターゲットにする、樹木のセット売りの検討、一つの樹種でも剪定などで様々な見せ方があり工夫が必要である、などの意見が挙がった。

大会後の祝賀会では、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 大塚守康氏が挨拶し、すべてを終了した二十時三十分、参加者は記念品の引菓子等を、来賓は引菓子に加え、新樹種部会設立二十周年記念誌およびアメリカアジサイ・ピンクのアナベル 苗木を手に会場を後にした。

## 「夢のある植物」を追い求めて二十年

新樹種部会・設立二十周年記念大会開催

六月七日(木)十四時四十五分から、ホテルサンルートプラザ新宿(東京都)にて、新樹種部会設立二十周年記念大会を開催した。来賓は、環境省、日本アロマ環境協会等を含む二十二名。参加社団数は四十四社。大会前半では、環境省水・大気環境局 総務課 総務課長 粕谷明博氏、公益社団法人 日本アロマ環境協会 千葉大学名誉教授 安藤敏夫氏、新顧問 千葉大学名誉教授 安藤敏夫氏、宇田川徹一氏、水城清志協会長による来賓祝辞、十年間顧問を務めた横井政人氏への感謝状授与、新顧問安藤敏夫氏の紹介があった。

千葉大学名誉教授・安藤氏は花卉ベテニアの研究で著名だが、子供の頃、出入りの植木屋に「木は男のたしなみ」と教えられ、樹木に深く興味を持つようになった。太平洋側では天竜川

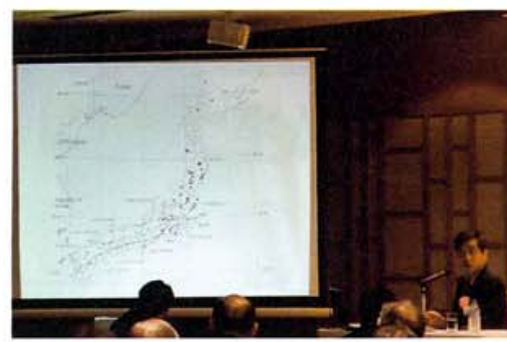
の系統地理学的構造では、外見上地域差がなく、形態的には区別不能だが、東北日本と西南日本のカツラ(Cercidiphyllum japonicum)はDNA型が異なり、太平洋側では天竜川

の歴史をもとに、これからの新樹種を語るには、新樹種部会設立にかかわった歴代メンバーが語った。

今回の議論のポイントとなったのは左記の二点  
1. 日本古来の品種に注目の必要性  
・日本の樹木は、日本の気候に適している。  
・園芸文化が盛んであった江戸で二百六十三の園芸書が発刊されており、国内に有望品種が眠っている可能性が高い。

木(ファスティギアタ樹形の武蔵野ケヤキ、日陰に強いハイノキ)の例。今後は日陰に強いヒセンマユミ、イシユなど注目されるのではないかと柴道相談役は、宮崎で多数の実をつける強耐潮性のマサキを見つけた例を挙げ、改めて日本の樹木の枝をじっくり眺めてみる必要性を説いた。突然変異などで形成された特徴ある枝等が原質となつて、今後の有望商品につながる可能性があるとした。

2. 売り方、PR方法  
・部会員一人一人がマイツリー(ブランド)を持ち、部会全体で販売・PRする案が挙がった。  
・海外種苗業界ではマーケティングが重要視されており、利益の10%をマーケティング費用として確保している会社の例が紹介された。



新顧問 千葉大学名誉教授 安藤敏夫氏



社団法人日本植木協会 新樹種部会 設立20周年記念大会  
パネリスト：部会相談役・柴道昭氏、新樹種マイスター・三上常夫氏、三好武二氏、小林公成氏  
コーディネーター：新樹種部会長・小林隆行氏

今回の議論のポイントとなったのは左記の二点  
1. 日本古来の品種に注目の必要性  
・日本の樹木は、日本の気候に適している。  
・園芸文化が盛んであった江戸で二百六十三の園芸書が発刊されており、国内に有望品種が眠っている可能性が高い。



記念大会前、同会場で開催した平成二十四年度通常総会

部会長	森川 雅 広	榎森川園芸	千葉
副部会長	真鍋 憲太郎	真鍋庭園苗畑	北海道
	小林 隆 行	榎小林ナーセリー	埼玉
幹 事	大野 富 久	榎長寿園	東京
	足 澤 匡	小岩井農牧場	岩手
	石川 重 明	石川環境緑化株	栃木(新任)
	川原田 邦 彦	榎実園園芸場	茨城
	栗原 隆 治	榎栗原緑地	埼玉(新任)
	城 旭 章	榎大門殖産園	埼玉
	山 崎 隆 雄	榎ワイスプランツ	埼玉
	越 川 芳 弘	榎越川園	千葉(新任)
	石川 剛	榎翠宏園	東京
	新 倉 健 治	新倉園	東京(担当理事)
	上 条 祐 一 郎	榎丸八種苗園	長野
	前 野 眞 澄	榎前野陽農園	愛知
	金 岡 栄 興	榎撰樹園	兵庫
	丹 下 貴 啓	榎瀬戸内園芸センター	愛媛
	山 田 満 治	榎山田園芸場	福岡
	監 事	小 林 公 成	榎小林養樹園
尾 上 信 行		尾上園	神奈川

六月八日(金)十時十五分から、公益財団法人 東京都農林総合研究センター(東京都立川市)にて、新樹種部会・設立二十周年 記念樹式典を二十四社園参加のもと開催した。森川雅広新部会長挨拶に始まり、望月龍也センター長にご挨拶を頂いた。挨拶後、新樹種園へ移動し、代表樹木「ヒマラヤヤマボウシ」マウンテン・ムーン」を望月センター長と森川部会長による共同作業によって植樹した。

植樹後、三上・小林新樹種マイスターの説明を聞きながら、今回寄贈した二十三種三十一本の新樹種を含む新



樹種園の樹木視察を行った。昼食後、参加者は記念品アメリカアジサイ・ピンクのアナベル 苗木を手に散会した。

### お知らせ

## 日本列島植木植物園 現地視察研修会 参加者大募集

今年の視察は山陰地方を巡ります。鳥取県の登録社園、とっとり花回廊。鳥根県の池泉回遊式庭園「由志園」。全訪問先で運営者にお話を伺える研修会です。商品の見せ方、集客の仕方、きっと何か一つヒントがあるはず！ぜひ奮ってご参加ください

日程：10月19日(金)〜20日(土) (メ切 10月10日(水))  
場所：山陰、鳥取・鳥根県  
※詳細内容は協会ホームページをご覧ください、事務局までお問い合わせください。

**とっとり花回廊**  
雄大な大山の姿を借景とした日本最大級のフラワーパーク。東京ドーム11個分の面積を持つ園内には、フラワードームを中心に、名前の由来となった周囲1kmの屋根付き回廊が設置されている。

樹種園の樹木視察を行った。昼食後、参加者は記念品アメリカアジサイ・ピンクのアナベル 苗木を手に散会した。



年間特集

# 生物多様性を考える

森づくりと生物多様性～豊かに生き延びるために～

第4回

## 緑化の目標・評価と市民参加 「バックキャストの必要性」

近自然森づくり研究会会長 北海道工業大学大学院教授 岡村 俊 邦 氏



### 緑化の目標と評価

近年、植樹の目的に生物多様性の保全・再生が加わり、多種の在来種からなる混交林をめざした植樹が盛んになってきました。この場合、後述するようにタネや小苗から造成する必要があることから、景観や木材資源、防災を目的とした従来の成木や大苗の植栽での評価とは異なる考え方が必要になっていきます。成木や大苗の植栽では、目標とする樹種は、植栽した成木や大苗が枯れることなく順調に成長した結果出現することになりません。したがって、植栽直後のストレスを乗り切り活着すれば、目標とした樹種が時間経過とともに出現する機会が多く、植栽後の早い時期の活着状態を調査すれば、植樹の評価が可能になります。

一方で、多種の在来種からなる混交林をタネや小苗から造成する場合、導入されるすべての個体が生存し、成長することを期待している訳ではありません。生物多様性を重視する場合、対象地に出現する樹種の樹種や個体は、多数のものから対象地の自然環境により選択される必要があります。つまり、自然間引きによる個体群(種のレベル)や個体(遺伝子のレベル)の自然選択が働くことや、また、時間経過とともに優占種が交代する遷移が進行すること(生態系のレベル)が重要になります。したがって、植栽後、多種のタネや小苗がそれぞれの特性に従って競争を経て淘汰され、生き残ったものが生育し、遷移の過程を経て最終的な目標(極相)に到達することになります。このため、当初植栽した苗木の活着だけでなく、その後の目標達成に繋がるとは言えません。

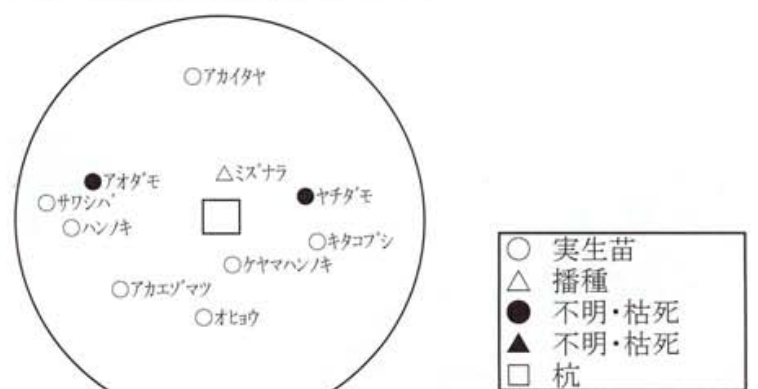
時間経過とともに出現するよう計画を未来から現在に向かって立てる必要がある、これは、バックキャストと呼ばれる計画手法です。この手法は、複雑な要因の絡む未来の目標を達成するには不可欠なものと考えられます。そして、バックキャストでの評価は、各段階での想定した状態になって



追跡調査の様子

No.8	日付	樹高単位(cm)					備考
		導入日 1998年	調査日 1999年	調査日 2000年	調査日 2001年	調査日 2002年	
樹種名							
ミズナラ(タネ)	9/18	0	13	16	29	60	
キタコブシ	8.2	10	30	50	57		
ヤチダモ	6	15	20	40		不明	
アカイタヤ	5	10	8			58	
アオダモ	2	5	9			不明	
サワシバ	7	16	39	45	34		
オヒョウ	7.2	15	28	37	40		
アカエゾマツ	3.5	8	15		24		
ケヤマハンノキ	22	28	128	290	390		
ハンノキ	22.7	61	121	170	273		

道道1号線



追跡調査用のカルテ

### バックキャストによる計画と評価

そこで、植樹によって目標とする混交林が造成されつつあるかを評価するには、目標とする混交林の構造を明確にし、それらがどのような過程を経て出現するかを明らかにしておく必要があります。

そして、目標が実現する未来から、植樹を行う現在に向かって時間を逆にして評価の基準を設定しておく必要があります。例えば、最終的な目標を百年後に設定し、そのためには、五十年後、または、二十年後の樹林の構造を予想し、予想を達成するために植栽直後どのような状態になるべきかを示す必要があります。つまり、想定した遷移の各段階が

いるかを明らかにする必要があります。継続的な追跡調査が欠かせません。

### 市民参加型植樹の問題点

ところで、樹木の生育環境の厳しい積雪寒冷地では、緑化に失敗した箇所が多く見られ、特に海岸部はこのことが顕著です。しかし、このことが問題にされることはあまりありません。これは、植樹と樹林の形成の間に大きな時間差があり、関係者の関心が遠い将来より目の前の植樹に向かいがちになるためです。この結果、植樹という行為が樹林の形成を目的としているにもかかわらず、植樹という行為そのものが目的化している場合が多いからです。特に市民参加等のイベント的な植樹では、この傾向が強く、植樹したものがその後樹林を形成したかをチェックするシステムが組み込まれていません。このため、植栽時の植栽本数や参加者の数がマスコミを通して喧伝されますが、数年後にその植栽地を観察すると、特に海岸部や積雪寒冷地では、枯れ木の山になっている場合が多く見受けられます。

税金を投入した広大な面積を対象とする

また、緑化工法の選択に当たっては、候補として上がった植樹方法について、植樹予定地と環境条件が近く、かつ、樹林形成に必要な時間を経過した施行地において、これまでの実績を確かめることが必要です。そして、計画時にその工法の専門家を積極的に関与させ、さらに、植樹や維持管理に市民や地域住民が持続的に参加し、現場のチェックを行うことで、目標としている樹林の成林に漕ぎ着けることができると思われず。

### 市民・住民と専門家の役割分担

第二回目で紹介した「生態学的混播・混植法」では、導入時には、用意されたカルテに基づいて、植樹者の氏名、ユニット内の導入樹種の配置、樹種名、樹高を必ず記録することになっています。混交林を目指す場合、導入樹種の数が多くなり、樹種を判別することは専門知識がないと不可能です。そこで、使用するポット苗に樹種名を書いたラベルを付けておき、植栽後は、このラベルを苗の近くに挿しておきます。

こうして専門家が準備を担当することで専門知識がない市民・住民が植樹の記録を取ることが可能になっています。また、この導入時のカルテに基づき、追跡調査用カルテを準備しておくことで、樹種の判

別が付かない子供たちでも、植栽位置と順番から植栽木の樹種を特定し、カルテに記入することが可能になっていきます。さらに追跡調査のカルテを基に、専門家がわかりやすい図表に整理し、市民・住民に示し目標と照らし合わせることで評価を行うことができます。植樹の目的が植樹イベントを実施することではなく、将来の樹林造成に向けた手段であり、その手段を選択することの重要性を関係者はもっと認識すべきだと思います。

追跡調査による遷移の過程の確認と評価

第1段階(施工～30年) 第2段階(30年～50年) 第3段階(50年～)

追跡調査による遷移の過程の確認と評価

追跡調査による遷移の過程の確認と評価

追跡調査による遷移の過程の確認と評価

追跡調査による遷移の過程の確認と評価

緑の、役割。

Onishiya 株式会社 大西屋  
代表取締役 西坂 哲紀  
〒99-1516 愛媛県今治市町会甲327-2



私たちはこう考える これからの日本植木協会

「自然に生かされ、活かす」ことを楽しめるライフスタイルの提案を

東北大学大学院 環境科学研究科教授 石田 秀輝 氏



年間特集

インタビュー シリーズ



【石田秀輝(いしだひでき)氏プロフィール】
1953 年岡山県生まれ。
東北大学大学院環境科学研究科教授。博士(工学)。

自然のすごさを賢く活かすネイチャーテクノロジー

現在は、環境と経済が全く両立していません。例えば家庭エネルギー消費の四割はエアコンと冷蔵庫ですが、この十五年くらいでエアコンは40%くらい、冷蔵庫は80%くらい省エネになっています。

日本人の自然観と「粹」の概念が豊かなのユント

循環型社会をつくるためには、地球のことを考えたものづくりやライフスタイルが必要ですが、これだけでは持続可能な社会とはなりません。

二〇〇六年にオイルピークが過ぎたことは全てのエネルギー機関が認めています。今後原油価格は上がり続けます。...

～家庭農場イメージ～
居間からレタス、納戸からバジル・・・
太陽の光と水と温度だけで植物が育つ



Emile H. Ishida, Tohoku Univ.

そのための軽量な土を開発して七月から実証実験に入っているのですが、上手くいけば壁からレタスが、抽斗からキャベツができてしまいます。

お知らせ
ロジテック部会
通常総会(仙台市)開催
通常総会:平成24年9月26日(水)
受付 15時30分
開催 16時~17時
場所 メルパルク仙台

精神、言わば相互扶助が生きていくために必要でした。あらゆるものに神が宿っていると考えていたから、米一粒でも大切にしました。

想像したらどんどん楽しくなるような提案を

日本人は本来、「自然に生かされていくことを知り、自然を活かし、自然をいやす」といった自然観を持っています。

肥料も殺虫剤も不要の宇宙にも持って行ける家庭農場に必要なものは「微生物の多様性」。



微生物の多様性に富んだ超軽量人工土(比重0.1程度)で育成が始まった植物

私たちのDNAは、進化するのに四万年かかります。私たちの根底には四万年の森の中の世界しかないのに、コンクリートの箱の中で暮らしているからストレスがたまります。



部会だより

青年部会 九州ブロック 井上致伸 (井上青華園・熊本県)

はじめまして。この度、日本植木協会・熊本県支部に新規入会をしました。井上青華園の井上致伸(よしのお)と申します。

東京農業大学を卒業し、父が開業した「井上青華園」で日々仕事に明け暮れております。今年で六年目になります。

高校卒業するころまでは野菜栽培などに興味を持ち、造園や植木栽培などはあまり縁のない東京農業者大学校に入学をしました。そこは生徒数百名とい

園」とそこで幼少のころから文句をいながらでもやってきたことが、とてつもない財産なのだと思いつかされました。

そこから真剣に樹木と向き合い感じたこと、それは樹木とはとても美しく、力強く、おもしろいものだと感じました。

花、葉、樹形は気に入ったものはいつまで見ていても飽きません。挿し木、剪定、管理をすればするほどその生命力に驚かされま

す。世界中・日本中・目の前の樹木にもまだまだ隠された魅力と可能性があり突き詰めていけばキリがない。技術も昔から受け継が

もってなかつたのです。そんな中で日本植木協会の入会でした。そしてここで新たな刺激に会いまし

た。新しい樹種を生産・開発されている方、我が家とは違った生産方法・作型で土

地にあった生産をされている方、インターネットなど新しい販売・流通に挑戦さ

れている方、近い世代にも関わらずに社を代表して経営をされている方。何

ないことがあるのが現実です。それでも地球を守り、文化を守り、人を守り、人々を癒す。そんな木の可能性を最大限に引き出す仕事。それが我々のような植木屋たか

んてはいいません。皆さんの話を聞いては驚くこと、勉強になると思うこと、ほかりで、自分はこの

とばかりで、自分はこの野菜など食べ物は人にとってなくてはならないもの

です。しかし、この樹木の仕事を人々にならなくてはならない仕事なのではないでしょうか。仕事、特に経営となれば

うえき・よろず相談

【質問】「客土を全く入れていない砂地(山砂)に寄せ植えされているサツキがウメゴケで株全体が真っ白になって、枯れている株もあります。定期的に掘上げて客土することが出来ません。客土に代わるウメゴケ対策を教えてください。」

【回答】

サツキツツジのウメノキゴケ対策

ウメノキゴケ(Parmotrema tinctorum)は、ウメ、マツ類等多くの樹木に着生が見られる。発生場所は、日当たり不良、通気性不良の場所が多く、ツツジ科植物の場合は、枯損の場合が多い。



本来ツツジ類は、日当たり良好、通気性良好、土壌pHが低く、排水良好な場所を好むので、その環境を整える。

【対策】

- ① 周辺の樹木の剪定を行い、日当たり、通気性を良くする。
② 花後の剪定終了後、石灰硫黄合剤20~30倍液+展着剤、冬期は、石灰硫黄合剤7~10倍液+展着剤を2~3回散布する。
③ 樹勢回復の為、硫酸水(1000倍液)を灌水として10~15日に1回行う。

最近、土壌条件、日照条件等考えず、デザイン優先で植栽されていることが多く、植物本来の特性を考えて植栽するのが望ましい。(適地適木)

回答協力:岡山県 グローバルグリーンクニタダ 國忠征美氏

うえき・よろず相談では、質問・疑問を募集中! 日頃不思議に思っていること、困っていること、聞いてみたいことなどが解決できる好機会です。ご自由にお寄せ下さい。

下記の質問へのご回答を広く募集中です! ご回答者には寸志を差し上げております。
10月号質問 -> 「モミジの品種で紅葉するものとしらないものがありますが、色よく紅葉させるためのポイントを教えてください」
※植木協会ホームページ・会員限定情報・掲示板でご投稿いただくか、事務局 緑化通信担当(kawamura@ueki.or.jp)までお寄せください。

地方かわら版

中・四国ブロック 櫻井 太

(南櫻井エンタープライズ・島根県)

今回、地方かわら版をアップする。
ロック長の命令の元担当させていただきます。島根でグランドカバープランツの生産販売をしています。(南櫻井エンタープライズの櫻井です。皆様よろしくお願

いします。弊社は昭和六十二年にヘデラの親株を植え付け、平成元年に初出荷をしたのがスタートで現在では約百品種のグランドカバーを生産販売しています。その約百品種の中で現在と未来(勝手に私が思い込んでる商品)を紹介したいと思いま



たえきれないのが現状です。
次に未来の商品として取り組んでいるのがティフトン芝のポット苗です。この商品との出会いは私が学生時代ずっとサッカーをしてきたこともあり、その時の恩師から今サッカー協会が保育所、幼稚園、小学校の校庭の芝生化(グリーンプロジェクト)を進めているから芝を作ってくれと言ったのが出会いでした。初めは嫌々でしたが、ティフトン芝のこと、校庭芝生化のことを勉強するに連れてどんだのめり込んで行きました。のめり込んだ一番の要因は芝生化した校庭を視察しに行ったとき、子供たちが裸足で大声を上げながら走り回り駆け回っている姿を見た時これだと思いました。子供たちがこんなに喜んでくれるなら私も本気で芝生化の事業に取り組みしてみようと思いました。写真は植え付けから二週間後のティフトン芝です。小学校の校庭に二万三千株植えました。植え付けは保護者、児童、先生、地域の方約四百人で植え付けをしました。九月には全面芝生になり秋の運動会は芝の上で行われる予定です。最後に、外国の子供に山を書いてもうと茶色で書くそうです、日本の子供に書いてもらう

★6~7月開催済み事業・会議等一覧★

Table with columns for Date (6月, 7月), Event Name (会議等名称), and Location (場所). Lists various meetings and events held by the association.

★(社)日本植木協会ホームページ★
【会員限定情報】一見やすくなりました! パスワードが必要です。
災害復旧樹種検討委員会、部会長合同会議、正副ブロック長合同会議等更新しました!
【トピックス】
・夏期の電力需給対策について(林野庁長官通知)
・放射能汚染対策に関して東京電力株本社からの回答がありました
・環境緑化樹木識別検定試験模範解答を更新しました

お知らせ

庭園樹部会通常総会(佐世保市)開催
通常総会:平成24年10月3日(水)
集合 福岡空港 受付 12時30分
視察 九十九島
場所 佐世保ワシントンホテル
開催 17時~18時
現地視察:平成24年10月4日(木)
場所 セイルタワー(海上自衛隊佐世保資料館)
時間 9時20分~11時30分
解散 福岡空港15時予定



# 私の経験 造園活動を支える 造園学研究所



東京農業大学名誉教授  
進士 五十八

## 自らの造園論を重ねて 作家論作品論をかく

「造園にも評論がないとこが良くてこが悪いか。いけない」と、公園史研究家の前島康彦氏はおっしゃっていた。  
意味ある造園、質の高い造園が評価を受け、その作家は高邁されるようにならないうと一人倍努力するひとながら、私はこれまでかなり丁寧な一流の造園家と

あけ、その作品や空間、その活動と背後にある造園の思想を評論してきた。いまでは故人の方が多くなってしまったが『ジャパン・ランドスケープ』(一九八七年・一九九三年)誌の連載で十六名、次いで『ランドスケープ・デザイン』(マルモ出版刊、二〇〇七年八月・二〇一一年二月)誌の連載で二十名をとりあげてきた。前者は『ランドスケープを創る人たち』(プロセス・アーキテクチュア刊、一九九四年)と題した単行本になっていて、特に造園家の原風景が作風に大きな影響を与えていることを明らかにした。後者も近くまとめるつもりである。ところで私が作品論や空間論を書いたのは、別に造園評論の重要性を体現しようとしたわけではない。



学生時代、はじめての作庭。福井市内笈田邸

本日は、私自身、自らのイメージを作庭、デザインしたいという欲求が強く、できれば造園家として実作したかったのに、大学に残り研究・教育のプロとしての生活に基軸が移り、その道が閉ざされてしまったことからの代償作用でもあった。直径が六尺ちかい大灯笼が在ったのでこれを生かして、宝舟の浮ぶ池と重森三玲風の朱色のモルタル仕上の岬兼テラスを設け、この先端に桂離宮の岬灯笼を据えた。背後に竹林と小

## 造園家からの造園学であること

大学の助手になってすぐ、沖繩の摩文仁の平和祈念公園(一九七〇)、東尋坊の環境整備(一九七二)の設計に当り、自然の地形や植生、地場材料を生かす工夫をした。その後も機会が与えられるとデザインを楽しんだ。親友の井上君と共同した熊本玉名の蓮華院誕生寺奥の院(一九七八)やASEANマレーシアA B F 肥料工場本部記念庭園(一九八五)は思い通りの造景となった。自分の研究が、歴史の視点を前面に出してからは、たとえば北斎の夢の百橋をテーマに倉敷市味野の橋の公園(一九八六)、板橋区唯一の江戸名所薬師の泉の復元公園(一九八九)、朝鮮通信使ゆかりの広島県下蒲刈ガーデンアイランド構想(一九九二)、目黒区の西郷従道旧邸庭園復元(青

葉台二丁目公園(一九九八)、道後公園復元(一九九九)等に係わり、こうした作業を通じて、歴史と日本文化がこれからの造園における重要なテーマとなるということを確認するようになる。造園学としての名古屋造園学、横浜市、川崎市、浜松市、そして世田谷区などの緑の基本計画など、委員長業がふえる。親水、エコロジー、生物多様性、文化、共生など時代の要請を真正面から受けとめて計画づくりに推めてきた。そんな中、担当者泣かせであったかもしれないが、私の場合、プランニングのみならず、その具体的事業の例えばデザインイメージまでをどうしても追求したくな

る。三鷹市の緑と水の回遊ルート(一九九五)、柏崎環境共生公園(二〇〇二)、三島市源兵衛川親水プロムナード(二〇〇五)、上野公園文化の森(二〇〇八)は、その結果である。実はこれには、理由がある。私の博士論文『日本庭園の特質、様式・空間・景観』(東京農大出版会、一九八七)も、その普及書『日本の庭園』(中公新書、二〇〇五)も同じであるが、私の研究の根底には、実際の造園に役立つものでなければならぬ、という考えがあった。庭園史研究の多くが、あたかも歴史家の如く史実の列記にフォーカスをしぼり過ぎて、作庭、造園の手法、技法、材料、構成の背景や実際などへの考察に欠ける。これに対して私はあくまで造園家の視点に立ち、造園活動に資する知識と知恵をも導くためにこそ庭園史研究や造園学研究所を指すべきで、それが造園家と造園学者の研究というものであってきたのである。

## 教えてください“みどりの雑学”(第4回)

ホームページ掲示板と緑化通信を利用し、緑育に使える「雑学」ネタをみんなで蓄積して共有しよう!

### 企画・編集「みどりの雑学」を集めたい某協会 子供から貰った疑問集

・植物の葉はなぜ緑色なの?  
植物の働きに「光合成」というものがあります。太陽の光エネルギーと二酸化炭素を使って、糖やでんぷんなど生きていくのに必要な炭水化物を作って、酸素をはき出します。植物の葉っぱの細胞の中には、「葉緑体」という小さな粒がいくつも入っていて、その中にある葉緑素(クロロフィル)が緑の色素を持っています。葉緑素は青や赤は吸収できますが、間の緑色の光は吸収できないので、反射して人間の目には葉が緑色に見えるのです。たとえば、赤い葉は葉の表皮には赤い色素を持っていて、一皮むくと中は緑色。  
緑色は光の波長が中波長で、光を感じる桿体細胞に無理なく働きかけストレスが少なく目に優しい特徴があります。交通標識などはそのため緑色にしてあるそうです。

・土とは何?  
土とは、動植物の屍骸がバクテリアなどで分解された物で、生命があります。一方、岩や砂は、マグマが解けて冷えて固まった物で、生命はありません。表土が1cm堆積するには100~400年かかり、1m堆積するには1~4万年かかると言われています。表土は植物などが生きて行くのにとっても必要な物です。簡単に表土を捨てないようにしましょう。

・なぜ野焼きや焼畑しても虫は死なないの?  
野焼きや焼畑をすると、もちろん焼け死んで肥料になる生物もいます。地上の炎は400℃以上になりますが、虫などは土の下に5cm以上潜り込み、熱さをしのいで温度が下がってから地上に出てくるのです。土が5cm以上あれば、上部の温度は下にはなかなか伝わらないのです。屋上庭園などにはこの考えを多めに利用できると思います。

・なぜ木や森が大切な?  
森林は地球温暖化を防ぎ、土砂崩れや水害を防止する力が有ります。また、さまざまな命を育み、おいしい空気や水を生みだします。私たち人間が生きて行くのに必要な衣・食・住を提供してくれているのです。

・年輪で本当に北がわかるの?  
南側は、日当たりが良いので早く成長し、北側は日があまり当たらないので成長が遅いという理由から、年輪が混んでいる方が北向きと一般には言います。しかし、傾斜や生育状態も関係しているため、一概に北の方が混んでいるとは言えません。  
また熱帯樹木は、年中育っているため年輪が無いものもあります。  
シモクレン・コブシ・タムシバなどのモクレン科やネコヤナギなどのヤナギ科の蕾の先端は、北の方角を指します。

・なぜ四葉のクローバーは幸運になれるの?  
四つの葉にはそれぞれ『富・名声・愛・健康』の意味があり、これが四つ揃ってはじめて幸運が訪れると昔から言われております。  
またクローバーは日本名「シロツメグサ」と言って、昔、ヨーロッパから陶器などを輸入する時に割れないように詰めて来たクッションとして使われた植物です。それが今は日本のどこでも生えています。

・なぜ文明の発祥の地は無くなったの?  
四大文明発祥地や大昔栄えた町のほとんどが、今は残っていません。もちろん戦争で滅びた町もありますが、大半は、今みたいに電球やコンロが無いので、明かりを取るためや煮炊きをするために大量の木を切り、植林をしないので砂漠化して町が無くなったと言われております。  
木や街路樹が邪魔になるからと言って、木を粗末にしていると、今に日本の街も砂漠の様に成って行く可能性が有ります。樹木などを大切に扱ってください。

・なぜ竹はあんなに早く高く伸びるの?  
樹木の成長点は枝先一箇所ですが、竹は各節に成長点があり、各節が一緒に成長します。モウソウチクなど、条件がよければ一日に90cm以上も伸びることがあります。また、竹の筒の中は人間が吐く息と同じくらいの酸素量があります。

・なぜ池の周りの木は池に向かって枝を伸ばすの?  
北斜面(南側が高く、北側が低い場所)の池のそばで、モミジの木が南の方向にあまり伸びず、なぜか北の湖面に向かって枝を伸ばしているのが質問を受けました。これはモミジに限ってではなく特にシダレヤナギなどの樹木も、太陽の光とまた池の反射光を求め、北方向に長く伸びていくからです。

前回に続き、協会のホームページの掲示板などを利用し、皆様の意見、答えやその他の情報などをお寄せください。

## お知らせ

あなたの身近な環境に、すてきなまじりの植物を取り入れてみませんか?  
「みどり香るまちづくり」企画コンテスト応募者募集中!  
優秀な企画に対しては、「かおりの樹木・草花」を無償で提供し、まちづくりを支援します。

こんなまちあったらいいな “新たなみどり香るまちづくりのアイデア”も募集  
募集期間:平成24年 10月 31日(水)まで  
主催:環境省 水・大気環境局 大気生活環境室  
共催:(公社)におい・かおり環境協会  
(公社)日本アロマ環境協会 (社)日本植木協会  
副賞提供:(公社)日本アロマ環境協会 (社)日本植木協会



詳しい情報は環境省ホームページから  
[http://www.env.go.jp/air/akushu/midori\\_machi/index.html](http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html)



【浦井史郎氏 プロフィール】

1945年11月22日神奈川県生まれ
東京都市大学環境情報学部教授
都市と自然のかかわりにおけるラ
ンドスケープデザイン作品を数多
く手がける。(多摩田園都市、全
日空万座ビーチホテル、ハウステ
ンボス等)



公 職 国土庁水源地域対策アドバイザー
財緑の地球防衛基金・副会長
国連・生物多様性の10年国内委員会委員長
代理、ほか多数
主な著書 景観から見た日本の心
(2006年、日本放送出版協会)
景観創造のデザインデベロップメント 他
その他 論文、記事、講演、メディア出演多数

環境革命の時代 ~みどりの新たな役割と東日本大震災~

すでに地球は全人口を賄えない状態に
今後は豊かさを求めるのではなく深める時代へ

第一回

平成二十四年度通常総会記念講演は、浦井史郎氏
による「環境革命の時代」―みどりの新たな役割と
東日本大震災―でした。(二〇一二年一月二十五日、
ホテルラフォーレ東京にて開催)
震災復興、生物多様性の視点から、自然と共に生
きることの重要性を強調し、緑化業界の真摯な取組
みを期待する内容は、大変好評であったため、講演
内容を四回連載にて紹介します。
社団法人日本植木協会の
三十周年を、心からお祝い
申し上げます。またお仲間
には、東日本大震災で大変
な思いをされている方もお
いでのなると思います。衷
心よりお見舞いを申しあげ
ます。
この東日本大震災は被災
地だけの問題ではなく、誰
の身にも降りかかる問題だ
と認識をする必要がありま
す。首都圏直下型地震がこ
の四年間に70%の確立で起
きうるという見解も大きく
報じられました。その時に
皆さんがどう対応できるか
が非常に重要で、その時
時に緑がどういった役割を
するのかが整理をしておく
必要があると思います。
まず皆さんに関心を持っ
ていただきたいのは、地球

を替えているのかを考
えてもらえば、そ
れは納得できるはず
です。しかし、一万
年前には百年間でた
った一種の生物種し
か絶滅していなかっ
たのに、人類の活動
によって現在は一
日に百種が絶滅して
おり、このまま放置す
れば三百〜五百種の
生物が絶滅するだろ
うと言われていま
す。一億個の部品で
出来た飛行機が、七
十億の乗客を乗せて
一日に三百〜五百の
部品を落とすという
ら、この飛行機はい
つまで飛び続けられ
るでしょうか。
地球上では、多くの生物
が役割分担することで様々
な物質やエネルギーを循環
させているのですが、これ
が地球の歴史を一年に換算
すると十二月のクリスマス
過ぎ、そして産業革命が起
きたのは一年の終わりのた
った二秒前のことなです
が、それが地球に大きな影
響をもたらしています。
今年、一九九七年に開
催されたリオデジャネイロ
での地球サミットから二十
年目となります。この
地球サミットでは「砂
漠化をこれ以上増やさ
ない」「熱帯雨林をこ
れ以上伐らない」「生
物多様性という地球の
得難いシステムを壊さ
ない」「それらに最も

影響を与える気候変動を起
こさない」という四つの約
束をしたのですが、二十年
経った今も、私たち人類は
あいかかわらず国益や地域
益、集団の権利にこだわ
り、地球の未来に一步踏み
出そうという勇気を持って
いません。二十世紀の文明
は、石油や鉄、マンガンと
いった地下資源によって発
展してきました。しかし多
くの統計が示しているよう
に、今後の地下資源に依
存して生きていくことはで
きないの明らかです。そ
うなると私たちが生きてい
く術は、生物誕生後三十八
億年間生き延びてきた他の
生物の知恵に学ぶ以外ない
のです。
皆さんにぜひ勇気を持っ
て受け止めていただきたい
のは、産業革命の時代は確
実に終わるということだ
す。環境を大切に、未
来永劫地球が持続性を持て
るようなライフスタイルや
社会形態が必要なのです。
これからは豊かさを求める
のではなく深める環境革命
の時代としていかなけれ
ば、地球の未来はありませ
ん。

【連載予定】
第一回 すでに地球は全人口を賄えない状態に
第二回 自然を知り上手にいなすのが日本人の知恵
第三回 今後の都市づくりの傾向はコンパクトシティ
第四回 今後目指すべき日本の社会構造はブドウの形
そこに皆さんの知恵や能力を活かす提案が欲しい

大森 齋 (東京都)
高橋 誠 (徳島県)
賛助会員・入会
▽リゾートトラスト(株)
代表取締役 伊藤勝康 (愛知県)

地球サミットでは「砂
漠化をこれ以上増やさ
ない」「熱帯雨林をこ
れ以上伐らない」「生
物多様性という地球の
得難いシステムを壊さ
ない」「それらに最も
を替えているのかを考
えてもらえば、そ
れは納得できるはず
です。しかし、一万
年前には百年間でた
った一種の生物種し
か絶滅していなかっ
たのに、人類の活動
によって現在は一
日に百種が絶滅して
おり、このまま放置す
れば三百〜五百種の
生物が絶滅するだろ
うと言われていま
す。一億個の部品で
出来た飛行機が、七
十億の乗客を乗せて
一日に三百〜五百の
部品を落とすという
ら、この飛行機はい
つまで飛び続けられ
るでしょうか。
地球上では、多くの生物
が役割分担することで様々
な物質やエネルギーを循環
させているのですが、これ
が地球の歴史を一年に換算
すると十二月のクリスマス
過ぎ、そして産業革命が起
きたのは一年の終わりのた
った二秒前のことなです
が、それが地球に大きな影
響をもたらしています。
今年、一九九七年に開
催されたリオデジャネイロ
での地球サミットから二十
年目となります。この
地球サミットでは「砂
漠化をこれ以上増やさ
ない」「熱帯雨林をこ
れ以上伐らない」「生
物多様性という地球の
得難いシステムを壊さ
ない」「それらに最も

日本のみならず、
今、世界は危機に瀕している！
現代文明の規模は、地球の
環境収容能力(Carrying Capacity)を
超えている
地下資源の底が近い！！
もうこれらに依存できないのは明らか
(枯渇予想:石油 2030年・ 銀 2019年・ 金 2020年・ 銅 2030年)
生物資源、自然は、
化石燃料など地下資源の底の後
新たな未来を開く重要な要素 (経済財)
人間生活は生物多様性もたらす
システムに支えられている
38億年間生き延びてきた他の生物の知恵に学ぶ以外ない。
→ 我が国は生物産業の先駆
(日常的に生きもの社会と対話・応答
...歴史的な雑草や昆虫との戦いなど)
→ 21世紀の最先端技術(ネイチャー・テクノロジー)
例:生きもの模倣技術(バイオミミクリー)
豊かさを追い求める時代から、深める時代へ！
利益結合型社会から、地縁結合型社会に！！

緑化通信・新年号用
表紙を飾る
素敵な画像を募集中！
採用させて頂いた方には謝
礼があります！
ふるってご応募ください！
提出は11月15日までに
事務局緑化通信担当まで
庭・公園用樹卸
造園設計施工管理
有限会社 あすま緑化園
〒336-0912
埼玉県さいたま市緑区馬場 2-35-3
TEL: 048-873-9925 代
FAX: 048-873-6179
asuma-ryokuka@muf.biglobe.ne.jp
代表取締役
秋山 富士雄

会員動向
正会員・仮事務所設置
(株)青葉造園土木(福島県)
いわき市小名浜岡小名字
塩田一 一 雇用促進住
宅 小名浜宿舎 二一
〇一
TEL (FAX 兼用)
〇二四六一五四一三三
五
(株)タカシヨ(東京都)
(新)東京都千代田区
三崎町三二一二十四
大森 齋 (東京都)
高橋 誠 (徳島県)
賛助会員・入会
▽リゾートトラスト(株)
代表取締役 伊藤勝康 (愛知県)

お知らせ
第29回全国都市緑化フェア TOKYO
関連イベント
今年の花と緑の祭典「緑化フェア」は、東京の6会場を
メイン会場として開催されます。
会期:平成24年9月29日(土)~10月28日(日)
会場:上野恩賜公園、井の頭恩賜公園、日比谷公園、浜離
宮恩賜庭園、海の森、国営昭和記念公園
※日比谷公園では、会期中、新樹種部会によるガーデン展
示を行っています。
関東・甲信越ブロック主催
「小さなお庭作り」
小庭園コンクール
参加親子募集中
親子で土や植物に触れて、実際に
お庭を作ってみませんか?初心者大
歓迎。お庭の広さは1.2m四方。主催
者側で準備した樹木と草花を使ってご
自由にアレンジできます。
表彰式を行い、全作品は約2週間公
開展示します。展示終了後の植物は持
ち帰れます!
日程:10月13日(土) 13:00-15:00
場所:日比谷公園第二花壇
(芝生広場)
参加費:無料
定員:10組(予定)
×切:9月5日(水)
問合せ:事務局 立石
新樹種部会 主催
新樹種をたべる!?
~第11回新しい造園樹木の研修会~
参加者募集
今回は普段の生活に取り込みやすい
「食」に関連した樹木・植物をご紹
介。緑化フェアで展示中の本物の樹木
を紹介しながら、毎日楽しく豊かに、
そして元気になる植物との暮らし
方を提案します。
日程:10月26日(金) 13:00-17:00
場所:緑と水の市民カレッジ
日比谷公園内 展示ガーデン
参加費:¥1,000-
(カレンダーと樹木解説・在
車量記載 CD付き)
定員:100人(先着順)
×切:10月19日(金)
問合せ:事務局 河村まで